

豊前市水道事業経営戦略
(令和6年度改定版)

団 体 名：豊前市

事 業 名：豊前市水道事業

策 定 日：令和 7 年 3 月

計 画 期 間：令和 7 年度 ～ 令和 16 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 給 水(令和4年度末現在)

供 用 開 始 年 月 日	昭 和 13 年 8 月 1 日	計 画 給 水 人 口	22,290	人
法 適 (全 部 ・ 財 務) ・ 非 適 の 区 分	法適(全部)	現 在 給 水 人 口	17,662	人
		有 収 水 量 密 度	112.57	千m ³ ／km ²

② 施 設

水 源	□ 表流水, □ ダム, □ 伏流水, ■ 地下水, ■ 受水, □ その他 (複数選択可)			
施 設 数	浄水場設置数	0	管 路 延 長	174.77 千m
	配水池設置数	5		
施 設 能 力	8,780	m ³ ／日	施 設 利 用 率	64.8 %

③ 料 金

料金体系の 概要・考え方	用途別の水道料金に、口径別のメーター使用料を合算して算出しています。				
	水道料金			(税別)	
	種別	料金 用途	基本料金		超過料金 (1m ³ あたり)
			水量	料金	
	専用栓	家事用	8m ³	1,350円	230円
		営業団体用	8m ³	1,450円	260円
		工場用	100m ³	25,700円	290円
		臨時用	10m ³	3,000円	350円
		船舶用	1m ³	500円	500円
	共用栓	共用	10m ³	1,000円	120円
	消火栓	演習用	1栓1回15分間につき		3,500円
	メーター使用料			(税別)	
	口径	1ヶ月当たり料金 (1個につき)	口径	1ヶ月当たり料金 (1個につき)	
	13ミリメートル	50円	50ミリメートル	800円	
	20ミリメートル	90円	75ミリメートル	1,350円	
	25ミリメートル	120円	100ミリメートル	1,800円	
	40ミリメートル	300円	150ミリメートル	2,600円	
料金改定年月日 (消費税のみの改定 は 含 ま な い)	平成 13 年 10 月 1 日				

④ 組 織

上下水道課9名で水道事業、公共下水道事業、工業用水道事業を運営しています。

(2) これまでの主な経営健全化の取組

平成22年度より、検針・収納等業務について民間委託しています。
平成29年7月より人件費削減のため職員1名を減らしています。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

別紙参照

2. 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

令和5年度までの実績を見ると、給水人口は徐々に減少しており、市全体の人口減少に伴って、計画期間においても減少していく見込です。

(2) 水需要の予測

給水人口の減少や節水機器の普及等により水需要は減少していく見込です。

(3) 料金収入の見通し

水需要の減少に伴い、料金収入は減少する見込です。過年度から継続する赤字が計画期間においても続く見込みであり、事業運営に必要な財源を確保するためには料金改定を検討すべき状況と考えます。

(4) 施設の見通し

上町配水場の受変電設備が老朽化しており、令和8年度～9年度にかけて更新を行う予定です。管路については、老朽管更新事業を引き続き行い、耐震化を含めて計画的に更新していく予定です。

(5) 組織の見通し

今後も現行の体制を維持していく予定です。

3. 経営の基本方針

豊前市水道ビジョンに位置づけている「運営基盤の強化と安定した水道水の供給」という将来像に基づき、以下の目標を設定しています。

1. 安全でおいしい水の供給
2. 水道水の安定的な供給
3. 健全な事業運営
4. 環境にやさしい水道

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)： 別 紙 の と お り

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

計画期間内において、継続して老朽管を行う予定です。
令和8年度～9年度にかけて、上町配水場の受変電設備の更新を行う予定です。

② 収支計画のうち財源についての説明

人口減少に伴う水需要の減少が見込まれ、事業活動による獲得する資金のみでの運営は困難な状況であるため、企業債や一般会計からの繰入金により建設工事を行います。
収益的収入のうち、一般会計補助金を職員給与費や企業債償還利息に充当します。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

・直近年度における光熱水費、委託料等の増加を計画に反映しており、事業運営に最低限必要となる経費も高い水準で推移する見込みです。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 投資について検討状況等

民間の資金・ノウハウ等の活用 (PFI ・ DBO の 導 入 等)	現在、検針・収納業務及び配水場運転管理業務について民間委託していますが、民間委託のさらなる導入拡大について検討していきます。
施 設 ・ 設 備 の 廃 止 ・ 統 合 (ダ ウ ン サ イ ジ ン グ)	伊良原ダム完成に伴い京築地区水道企業団から受水を受けており、将来的には現在稼働している井戸の廃止や合理化を検討しています。
施 設 ・ 設 備 の 合 理 化 (ス ペ ッ ク ダ ウ ン)	
施 設 ・ 設 備 の 長 寿 命 化 等 の 投 資 の 平 準 化	管路更新を計画的に行います。
広 域 化	福岡県が令和4年度に策定した「福岡県水道広域化推進プラン」に係る勉強会などに出席し、県の動向について情報収集や意見交換などを行い、情報共有を図ります。当該プランの進捗とともに、検討を進めていきます。
そ の 他 の 取 組	—

② 財源について検討状況等

料 金	現金不足が発生する場合には、水道料金の見直しを検討します。
企 業 債	管路更新事業に必要な投資資金の確保のために必要な借入れを行います。
繰 入 金	経営状況を見ながら一般会計部局と協議し、繰入れを行います。
資産の有効活用等(*2)による 収 入 増 加 の 取 組	現在遊休資産の貸付を行っており、今後も継続して行っています。
そ の 他 の 取 組	—

③ 投資以外の経費についての検討状況等

委 託 料	現在、検針・収納業務及び配水場運転管理業務、開閉栓業務等について委託しています。 今後も継続して行っています。
修 繕 費	主に管路の漏水修繕や量水器の取替え等を見込んでいます。今後も平準化して修繕を行っていきます。
動 力 費	昨今の物価高騰やエネルギー問題等の情勢を踏まえ、増加すると見込んでいますが、機械設備等の更新・導入にあたっては、省エネルギーに対応した製品を採用する等、動力費の削減に努めます。
職 員 給 与 費	必要最低限の人員で運営を行います。
そ の 他 の 取 組	京築地区水道企業団からの受水の適正量について、検討を行います。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経 営 戦 略 の 事 後 検 証 、 更 新 等 に 関 する 事 項	毎年度の決算と投資・財政計画の差異を把握し、その原因を整理して翌年度以降の経営活動に反映します。少なくとも5年に一度は経営戦略の改定を行います。
---	--